

令和6年度

事業計画書

特定非営利活動法人手話教師センター

1 事業の計画

コロナと共生する時代において、必要な感染対策を講じながら、本年度の方針として、オンラインのほうが適切なものについてはオンライン、対面のほうが適切なものについては対面で行なう。

【育成】 定例会を年に4回実施する。うち3回はオンライン、1回は対面で行なう。△オンライン版日本手話ブラッシュアップ講座を年に4回実施する。（うち1回は手話言語学基礎講座を実施する）△ナチュラルアプローチ手話教授法講座は本年度は開催しない（来年度に大阪で開講予定）。△ナチュラルアプローチ手話教授法講座修了生を対象に、アドバンス資格を取得するためのアドバンス講座を開講する。

【研修】 集中研修会は前期（2回）、後期（2回）オンラインで実施する。△第24回日本手話教育研究大会をハイブリッド形式（会場とオンライン）で開催する。△手話教師育成指導者研修会をオンラインで1回実施する。△自主研修会の活性化を図る。

【派遣】 WP手話寺子屋講師（(株)アウトソーシングビジネスサービスダブルピー）への協力を継続して行なう。△企業、民間団体などへの講師派遣、登録手話通訳者研修会への講師派遣等を行なう。△個人レッスンへの講師派遣を行なう。

【開発】 オンラインによる手話学習サイト「サインアイオー」の監修を行なう。

【翻訳】 日本財団助成事業「コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業」最終年（5年目）となる。ろう通訳者、リーダー養成により力を入れる。1）人材を確保する①（オンライン翻訳講座を開講する）2）人材を確保する②（通訳理論講座、ろう通訳者養成講座、通訳理論講座を開講する）3）ろうフィを育てる①（ろうフィ養成講座の修了生を中心にした研修会を行う）4）ろうフィを育てる②（通訳オンジョブトレーニングを行う）△独自事業として、ろう通訳の資格化に関して海外視察を行なう。

【啓発】 ホームページ、Facebook、ツイッター等で広報、啓発を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【17,912】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年4回	オンライン	15名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約800人	400
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年4回	オンライン	10名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約480名	600
	アドバンス講座の開講	全10回	オンライン	7名	アドバンス資格をめざす手話教師	10名	400
手話教師研修事業	集中研修会	前期2回 後期2回	オンライン	6名	手話教師	100名	200
	日本手話教育研究大会	年1回	ハイブリッド	15名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	200名	400
	手話教師育成指導者研修会	年1回	オンライン	2名	手話教師指導者	15名	20
	手話教師自主研修会	通年	オンライン	10名	手話教師	100名	130
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	市民 手話学習者 手話通訳者	約3,000名	4,500
手話教授法に関する教材開発事業	サインアイオーからの業務委託	通年	事務所	2名	手話学習者等	約200名	1,942
翻訳・通訳に関する事業	人材を確保する① オンライン翻訳講座	通年	オンライン	6名	手話学習者 手話通訳者	72名	3,640
	人材を確保する② ろう通訳者・リーダーの養成	通年	オンライン	12名	ろう者 手話通訳者	18名	3,730
	ろうフィを育てる① ろうフィの研修	通年	オンライン	2名	ろう通訳者 リーダー	250名	1,430

	ろうフィを育てる② 通訳 OJT プログラム	通年	オンライン	2名	ろうフィ 通訳利用者 市民	450名	430
ろう者特化の啓発 有文の普及 に事業	ホームページ、SNS の運 用	通年	事務所	3名	ろう者、聴者 等、一般市民 正会員・賛助 会員	約 100人	90

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)